



●母校の神戸小学校にて

私の歩み方

第3回

各分野で活躍する田原市出身の方を不定期でご紹介しています。

原光隆さん (西神戸町生まれ)

ラジオアナウンサー

●神戸小学校・東部中学校・成章高等学校を経て立教大学に進学。放送研究会に所属して放送業界やアナウンスなどについて学ぶ。卒業後、東海ラジオ放送(株)に入社し、アナウンサーとして活躍。現在は制作局報道部で部長を務める。趣味は映画鑑賞。

【現在出演中の番組】

- ・はやおきラジオ 水谷ミミです (毎週日曜日 / 6:30 ~ 9:00)
- ・ミッドナイト東海 21 (毎週金曜日 / 26:00 ~ 27:00)

※いずれも東海ラジオ (AM1332kHz)

☎ <http://www.tokairadio.co.jp/>

ラジオで育った世代

—どんな少年時代を過ごされましたか？

【原さん】 ほとんど外で遊んでいました。学校の裏山やお寺の境内を駆け回ったり、缶けりや釣りをしたりして、伸び伸びと過ごしました。地域の小学生は、1年生から6年生までが一緒になって兄弟のように遊んでいました。楽しい思い出です。
—ラジオが身近な時代でした。

【原さん】 学生時代は、「オールナイトニッポン」や「ミッドナイト東海」などの深夜放送が人気でした。いつも、学校で話題にしてみましたね。当時はディスクジョッキーが花形の職業で、今、一緒に仕事をさせていただいている水谷ミミさんは、あこがれの存在でした。
—ラジオの魅力とは何でしょうか。

【原さん】 広いエリアに同時に言葉を届けられるところですね。それから、音声だけでイメージを伝えなければいけないところが、難しくもあり、面白いところだと思います。リスナーから、メールやファックスなどで直接反応をいただけることもうれしいですね。若い人たちには、もっともっとラジオを聴いてもらえたらと思います。
—アナウンサーを目指したきっかけは？

【原さん】 高校生のとき、校内放送を担当したら「声がいいね」と言われ、「そういう仕事もいいかな」と意識し始めました。
—仕事で何か苦労されることはありますか？

【原さん】 運良く好きな職業に就けたので、特に大変だと思ったことはないですね。なりたくてもなれない人が多い中で、この職業に携わっていることに幸せを感じています。

成章野球部の甲子園出場に感激

—故郷への思いを聞かせてください。

【原さん】 外にいて、たまに帰ってくる身としては、変わらずにあつてほしいですが、住んでいる方にとっては、時代とともに住みよくなっていくことが望まれていると思います。
—最近、田原市の話題で気になったものは？

【原さん】 やはり、春の選抜高校野球大会で成章高校野球部が初勝利を挙げたことですね。私も甲子園に応援に行きました。入場行進で、成章高校のプラカードを見たときは涙が出てきましたよ。
—田原市の若者にメッセージを。

【原さん】 一度外から故郷を見てみると、分かることもあります。環境の違う人とかかわることで、さまざまな交渉力が身につくことでしょう。田原からもっとさまざまな分野で活躍する人が現れてほしいですね。そして、いつまでも出身地を好きでいてくれたらと思います。



▲5月8日(土)には、神戸小学校の教育講演会に講師として招かれ、「子育ては親育て」というテーマで講演されました。ラジオ番組での見聞や実際の子育て経験を元に、「短くしかる」「親は一人が怒ったら、一人がフォロー」「親バカは大いにけっこう、でもバカ親はいけない」など、子育て世代に参考となるお話でした。